

Bangladesh進出情報収集プログラム

(期間：2019年3月11日(月)～3月15日(金))



Bangladeshの経済は2017年度に7.3%の高成長を遂げました。所得水準が向上する中間層、高いインフラ整備需要など一大消費市場として、また将来性ある潜在的な市場としてBangladeshは注目されています。今後もソフト開発・ITアウトソーシング・eコマース・金融・決済・エネルギー・交通・インフラ等の様々な分野で成長が期待できます。低コストで豊富な労働力だけでなく高度人材の育成にも力を入れています。しかし、日本国内で流通するBangladesh情報・リソースはまだ不十分で、多くの日系企業にとって馴染みの薄い国であり、新たな市場として未開拓となっています。

そこで、このアグレッシブに成長する国を視察する「特別限定プログラム」を企画しました。

特別限定のポイント！

- ・通常では接触しにくい訪問先（現地政府機関や注目の民間企業など）
- ・Bangladesh出身コンサルタントの堪能な日本語によるご案内
- ・Bangladesh進出情報収集プログラム報告資料等のサポート

こんな方におすすめ！

Bangladeshや新興市場に関心をお持ちの企業、ビジネス協業を考えておられる企業、Bangladeshへの進出またはインバウンド市場を検討しておられる企業

Bangladesh注目の理由！

- ・実質GDP成長率は、過去10年間安定的に6%台前後、直近2年は7%以上
- ・2017年時点の名目GDPは2,500億ドルで、ベトナムの2,240億ドルを上回る
- ・1人あたりのGDPが2018年時点で1,670ドル（2009年：703ドル、2020年：約2,000ドル）
- ・GDPは経済成長におけるIgnition Point到達し、今後の成長は加速的成長を想定
- ・平均年齢25歳、総人口約1億6千万人、今後40年にわたり人口ボーナス期となる**豊富な労働生産**
- ・2030年の世界経済規模予想 26位にランク(現在、42位)
- ・急成長するICT、通信市場、モバイルバンキング。同国政府は自国をITハブにすべく、**ハイテクパーク建設が進行中**
- ・ビッグデータ分析、サイバーセキュリティ、クラウド等の様々な分野で数々の**ICTスタートアップ企業が躍進**
- ・電力需要は年間10%の割合で増加。同国政府の電力マスタープランによると、**総設備容量を増加**（2041年まで5万MWを目標（2017年6月：13,555MW））
- ・過去9年で進出日本企業数は約3倍増（2009年:82社→2018年:279社）、**対日貿易成長中**
- ・**親日、低コスト**、現地政府による支援(**税制優遇**等)

スケジュール※

2019年 3/11 (月)	空路にてBangladesh・ダッカへ <ダッカ泊>
3/12 (火)	JICAダッカ事務所 Bangladesh投資開発庁 (Bangladesh Investment Development Authority (BIDA)) 現地企業①・現地企業② <ダッカ泊>
	通信省 (Ministry of Posts, Telecommunications and Information Technology) 電力開発庁 (Bangladesh Power Development Board (BPDB)) 現地企業③・現地企業④ <ダッカ泊>
3/14 (木)	Bangladeshハイテクパーク局 (Bangladesh Hi-Tech Park Authority (BHPTA)) Bangladesh・ソフトウェア情報サービス協会 (Bangladesh Association of Software and Information Services (BASIS)) ダッカ大学周辺視察 空路にて東京へ

※スケジュールは変更される場合があります。

概算費用

お一人様 850,000円

(2名一室)

※1人部屋追加料金 (合計3泊)50,000円

※費用に含まれるもの渡航費、宿泊費、現地移動車費、通訳、食事代

※上記の代金は2019年2月12日までの早期申し込み価格です。2月12日以降は個別相談になります。

※旅程詳細については、別途、旅行会社よりご案内します。

Consultant

Islam Md. Mydul (イسلام モハメド マイドル)

株式会社富士通総研 クロスインダストリーグループ

海外リサーチ担当



金融業界にてBangladeshを中心に、東南アジアでの合併会社の設立に向け、事業シミュレーション、財務等の各種戦略、海外投資案件の発掘、リスク分析に携わる。Bangladeshでの火力発電所（当時最大規模）に対するプロジェクトファイナンスに従事。現在、エネルギー業界を中心に海外リサーチ、国内各種調査や新たなサービスの提案等を実施している。

Consultant

Oizumi Junya (大泉 淳哉)

富士通株式会社 デジタルフロント事業本部

海外リサーチ担当



富士通にて約15年間従事。その間、複数のグローバル案件にかかわる。直近では米国、英国、スペイン、スウェーデン、エストニア、台湾などでIT技術探索を実施。現地企業と日本企業のマッチング、現地IT企業の調査を行っている。海外リサーチプログラムのプロデューサーとして全体を統括。

このカタログに掲載されている内容については、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2019年1月25日

お問い合わせ先

株式会社富士通総研

クロスインダストリーグループ

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー

E-mail : fri-brp@cs.jp.fujitsu.com